

公益社団法人 日本経営工学会
第 33 期第 9 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 11 月 5 日（土） 15:00～17:30

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、
斎藤文、小西昭士、内田耕平、皆川健多郎

（監事）後藤正幸

欠席者：（理事）岩崎昭、大久保寛基

（監事）高橋勝彦

議決事項

1. 第 33 回期第 8 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、（資料 1-1）に基づき、第 33 期第 8 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事より、（資料：1-2）に基づき、正会員 4 名、学生会員 5 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。学生の発表申込みの際に、Best Presentation Award の周知と併せて新規入会をうながす仕組みの必要性について議論があり、表彰委員会でも検討することとした。

3. 2016 年度秋季大会 Best Presentation Award 受賞者の件

研究・表彰担当理事より、（資料：1-3）に基づき、審査過程と受賞候補者 5 名について報告され、全会一致で承認された。

4. 支部組織の改編について

支部担当理事（斎藤理事が代理説明）より、（資料：1-4）に基づき、現在の西関東、東関東、北関東の 3 支部を統合し、ひとつの関東支部にすることが提案され、予算の配分を適正にするために経理細則を見直すことを前提に承認された。

協議事項

1. APIEMS 2019 について

会長より、2019 年の 11 月あるいは 12 月に金沢で開催される予定の APIEMS2019 の運営に関するサポートを、JIMA でしてもらえないかと、元早稲田大学教授の玄光男先生から依頼があったことが報告された。協議の末、事務処理のアウトソースと、プロシーディングスの審査や問い合わせ対応などについての体制作りを入念に行うことを念頭に置いて、同会の開催に対して JIMA として協力していくことが、全会一致で承認された。

報告事項

1. 退会について

会員担当理事より、（資料 1-2）に基づき、退会について報告がなされた。

2. 第二四半期（2Q）の予実算報告について

財務担当理事より、(資料:当日配付)に基づき、第二四半期(2Q)の予実算報告がなされた。収入に関しては予算に比べて会費収入がやや少ないのに対して、事業収入は上回っていること、支出に関して、事業支出は昨年度並みなのに対して、管理費は学会HPのリニューアルなどのため増加していること(ただし詳細については精査が必要)、などが報告された。最後に、来年度の予算と事業計画の策定に関する今後の進め方について報告された。

3. 第33期第9回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料1-5)に基づき、協賛行事、国際会議情報の公開サービス状況、APIEMS 関連事項、ICPR 関連事項、FMES シンポジウム、日本工学会、経営関連学会協議会等について報告があった。加えて会長より11月5日に横幹連合との意見交換が行われ、連合としての活動が形骸化しないよう意見したとの報告があった。また、次年度のFMES シンポジウムの運営をJIMAで担当することになっているので、二ノ宮副会長と国際渉外委員会副委員長である翁嘉華先生が今年度の同シンポジウムに参加することになり、財務担当理事に相談し、大会参加料3,000円を予算から支出する承認を得たこともあわせて報告された。

4. 掲載料・別冊代請求一覧について

編集(論文誌)担当理事より、(資料1-6)に基づき、掲載料・別冊代請求について報告がなされた。なお、入金が送れている請求No.0120-67-2E-9に関しては、著者が海外の人であることにも起因して、最終的に掲載料を収受できない可能性があることが言及された。

5. 秋季大会開催報告

大会担当理事より秋季大会開催報告があった。結果は集計中であるが、JIMAの参加者は春季大会よりやや少なく、IE協会の参加者は例年通りであることが報告された。大会で回収されたアンケートについても集計中であるが、共同開催や平日開催についての賛否はおおよそ半々であることが報告された。今回の共催に当たってはIE協会の全面的なバックアップがあったこと、また大会に参加していない会員からは出席者を対象にしたアンケートには現れないネガティブな意見も聞こえてきたことが併せて報告された。これらも踏まえた上で、共催のメリットを高めていくための検討が今後とも必要であることが確認された。

6. 『「技術士を目指そう」説明会』について

会員・人材育成担当理事から、今年度を実施される『「技術士を目指そう」説明会』において、日本経営工学会の取り組みに加えて、産学連携研究交流会の紹介やパンフレットの配付をする予定であることが報告された。またこれに限らず、いろいろな機会において技術士の資格取得を学生に奨励してほしい旨の依頼があった。

7. J-STAGE投稿審査システム申請について

論文誌編集担当理事より11月3日の理事会MLにて報告のあった、J-STAGE投稿審査システム申請不採択の件について、論文誌の投稿数、掲載数の減少によりSCOPUSの対象から外れてしまうことに対する懸念についての意見があり、大会から論文誌へのリンクを強めたり、特集号をもっと発刊したりするような策の必要性が指摘された。

8. 著作権規則の改訂について

庶務担当理事より、前回理事会で承認された著作権規則の改訂について、総会決議を経る

ことなく誤って改訂版を一時的に HP に載せた（すぐに現在版に復元）ことが報告された。関連して、規則類の中にはその変更に際して総会の決議を要すると定められているものがあるが、ガバナンスと施行の柔軟性とを鑑みた上で、もしその条文の削除が妥当であると考えられるものがあれば提案してほしいとの報告があった。

9. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず河野会長からは、JIMA 秋季大会と IE 年次大会の合同開催に関する準備と第 2 回産学連携研究交流会の準備を始めとして、学会全体の業務全般について運営方針の明示を含め指揮を執行した旨の報告がなされた。次に二ノ宮副会長からは、四半期毎の予実算管理を指揮したとの報告がなされた。最後に外館副会長から、第 2 回産学連携研究交流会に関して、IE 協会との調整を含めた業務運営の指揮を進めた旨の報告がなされた。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 後藤 正幸 印